

大好きな作品の一つ。アトリエにも、飾っている。
今、思うと、どんな心境だったのだろう。心が傷ついていた時だったと思う。
宿では、すすめられた、フォンジュを、美味しくいただいた。
心模様 5700、こんな雰囲気 of 宿だった。



山はみどり 野に花 人にはこころ

地球のかおり

2月、厳寒のスイス・アルプス。名も知らぬ小さな駅でなんとなく下車した。改札を出ると、ちょうどバスが出るところで、後先考えずに乗車。約1時間後、遠くに教会が見えた。その前を通り過ぎようというとき、突然思いだした。見たことがある、いや来たことがある。なんとという偶然。7年前の夏に訪れた村だ。またもや途中下車。肌を刺す寒さの中、あたたかさを感じた。

(夢絵作家 久樂迎古)

鐘が鳴る丘

産経新聞